



のう 能による音楽朗読劇「^{ろうどくげき}銀河鉄道^{ぎんがてつどう}の夜」



銀河鉄道がジョバンニたちを乗せてすすき野原を走る場面
撮影：田中 千秋(当館職員)

2021年8月7日にまるちたいけんドームで行われた、宮沢賢治^{みやざわけんじ}「銀河鉄道^{ぎんがてつどう}の夜」第3稿^{こう}を元^{もと}にした舞台^{ぶたい}、『ジャパンフェスタ in ADACHI 2021 能による音楽朗読劇「銀河鉄道^{ぎんがてつどう}の夜」』は、はくちょう座^ぎから始まり、物語^{ものがたり}に沿って天の川^そをめぐる南半球の星座^{せいざ}に続いていきます。当日はライブ^{はいしん}配信も行いました。

まるちたいけんドームはその名の通り、マルチ^{たよう}(多様な)にイベント^{かいさい}を開催してきました。その中でもこの舞台は、たくさんの要素^{ようそ}が詰^つまった舞台です。すばらしいパフォーマーによる、能、歌、朗読、踊りに人形劇、使われる楽器も琵琶などの和楽器や洋楽器。ドーム映像を舞台背景^{はいけい}に使用し、さらに星空解説も演出^{かいせつ}に組み込まれました。

普段の投影^{ふだん}では夏の代表^{どうえい}的な星座^{だひょうてき}としてさそり座^{しょうかい}を紹介しますが、そのさそり座^{ねら}を狙う様に、いて座、南半球の星座であるケンタウルス座が同じ空^{あらか}に現れる後半の星空解説は見どころの一つです。

形容^{けいよう}できないほど贅^{ぜいたく}沢^もで盛りだくさんのこの舞台をギャラクシティYouTubeチャンネルのアーカイブからご覧^{らん}いただけます。海外のプラネタリウム関係者にも見てもらおうと英語^{かんけいしゃ}字幕^{えいご}にも取り組みました。ぜひ夏休みのお家時間、能による音楽朗読劇「銀河鉄道^{ぎんがてつどう}の夜」をお楽しみください。(URL:限定公開のため後日追記)
(解説員:松本 萌)